

Study Abroad Newsletter

Jan.2025



海外の大学院で留学中の生徒様にインタビューしました！

コロナ禍からの回復に伴い、海外大学への進学者数が増加傾向にあり、2023年の日本人留学生数は前年対比218%増加したとの統計も発表されています。今月のニュースレターでは、現在オーストラリアの大学院で医学研究に励んでいらっしゃるILSスクール卒業生様をご紹介します。異国の地で奮闘する彼女の言葉は、とても力強く、私たちが勇気づけてくれます！是非ご一読くださいませ😊

Profile

◆お名前：O・Y様	◆ご留学先：オーストラリア・シドニー
◆期間・学校：2018年4月～2020年12月	The Scots School
2021年2月～2023年12月	Macquarie university Bachelor of Clinical Sciences
2024年2月～現在	Macquarie university Master of research in Macquarie Medical School

授業内容や生活について

大学入学時点で日常生活には困らない程度の英語力はあったものの、アカデミックな英語エッセイの経験が不足していたこと、医学用語を全く知らなかったこと、高校時代に生物を履修していなかったことなどが重なり、最初の方は苦労しました。しかし慣れてしまえばアカデミックエッセイの方が型に当てはめるだけなので、やりやすいかもしれないと考えるようになっていきます。滞在する寮ではイベントが多くあり、友人関係を構築するだけでなく、良い勉強の息抜きにもなったと思います。また、無料でチューター（塾や家庭教師のようなもの）を受けられる制度もあり、そのおかげで授業にもついていけました。今では、私もチューターの一員として働かせていただいています。この優しさ、知識のサイクルが個人的に好きで、私も少しでも後輩の役に立てたらと思っています。

留学生活の中で、一番印象に残っている出来事や嬉しかったこと

学士時代、将来やりたいことが決まらずヤキモキしていた頃に恩師と出会いました。彼女の明るく楽しそうに授業する姿を見て、私もこんな風に生徒を導ける人になりたいと強く思い、今の道（大学での研究者）を目指そうと思いました。そんなきっかけをくれた恩師がメンター（指導者）になることを承諾してくださったことが一番心に残っています。私の努力を認めてくださり、「支えてあげたいと思った」と言ってくくださったことが嬉しかったです。恩師に恥じない研究者、教育者であることが今の私の目標であり指針です。



修士一年目は、恩師だけでなく研究室や学科の先生方も親しくしてくださり、彼らに少しでも報いたいという気持ちからさらに励むことができました。結果として、自身でも満足いく結果が残せ、奨学金もいただけることになりました。それを報告した時の両親の反応や、恩師からのメッセージを見て努力してきて良かったと思えました。



留学生活で大変だったことや苦労したこと

これは海外、日本に関わらずかもしれませんが、進路選択には毎回悩まされています。日本にいと、両親や先輩、同級生や先生と相談したり、出願の際も学校からのサポートを受けられたりするかと思います。しかしオーストラリアでは、自らリサーチし、決定して行動に移すことが求められます。こちらでは留学生と現地生で入学システム等大きく異なるため、人脈や情報が不足することが多々あり苦労しました。

留学中に手に入れた、今でも大事にしているもの

一番は人脈と国際感覚かなと思います。英語は日本にいても学べるかもしれませんが、多様な国からの友人、知人を作ることは難しいと思います。様々な国からの友人と関わることで、今までテレビの向こう側の世界と思っていた世界の事象に目を向けるきっかけとなりました。また、当事者側からの主張を聞くことができるので、偏りのない、当事者目線での出来事を知ることができます。世界の事象を他人事と思わないこと、一つの意見に固執せず、多角的に物事を考え、その上で自分の意思を持つことは大切だと思います。このような国際感覚や、それを育ててくれた人との出会いはとても大切だなと感じています。

留学を通じてご自身にどのような変化がありましたか？

特に考え方に変化があったかなと思います。留学前は日本の考え方に偏っていたことに、こちらにきて多様な考え方に触れることで気づくことができました。他の人の意見を聞いて私自身の考え方を変えたり、変わらずとも違う意見を認知し耳を傾けることで自分の視野が広がりました。研究においてそのようなcritical thinkingは重要な能力の一つなので、こちらにきてその力を若いうちから養えたのは良かったなと思っています。



Birthday Party

ご留学で得たことが、ご自身の現在や将来にどのように活かされていますか？

留学を通じた出会いで私は今、研究者の道へと歩んでいます。現在は修士一回生を終え、来年から配属先の研究室で筋萎縮性側索硬化症（ALS）という難病治療のための研究に取り組みます。先達からの知恵や知識を学び、研究を重ねていずれ研究分野で社会に貢献できればと考えています。

ILSのサポート内容について良かったと思ったこと

ILSさんには、留学前から英語力を上げる目的でお世話になっていました。留学は考えていたものの、「いつか」の遠い未来の話だと思っていた当時の私を、現実のものにしてくださったことに感謝しています。当時から今にかけて、保険や留学の手引きなど基本的なことはもちろん、帰ってきた際にはお話を聞いてくださったり、心身ともに支えていただきました。

これから海外の大学進学を目指す方へ一言アドバイスを！

留学するのに、早すぎる、遅すぎるということはありません！30代でスキルアップのために留学されている方もいらっしゃいます。一番大切なのは留学する本人の気持ちだと思います。留学するのなら、本気で！勉強も、交友関係も、遊ぶことも、全力で取り組まれることを勧めます。せっかくの機会ですから、お互い頑張りましょう！



Catching up with Naomi Sensei

留学に興味はあるけれど、不安も感じている方・・・

まずはお気軽にご相談にいらっしゃいませんか？留学に向けた第一歩を一緒に踏み出しましょう！



留学のお問い合わせは、ILS公式LINEを利用して
お気軽にご連絡ください！



インスタも
フォローしてね！

